

先日はてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回6月のてがたんは、6月14日(土)で、「カエルの世界—水中から陸へ—」がテーマです。この時期に博物館周辺で見られるカエルの暮らしぶりを観察します。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、6月7日(土)の9:30からです。  
よろしくお願いたします。

## 5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社前→市民農園フジ棚→けやき広場(解散)
- 観察日時と天気：2014年5月10日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：33人(大人22人、こども11人)
- 市民スタッフ：12人(水上香苗、弘實さと子、石原直子、伊東茂子、大嶽若緒、岡廣志、木村稔、小泉伸夫、須貝基康、染谷迪夫、古川克彌、松村定雄)
- 鳥博職員：2人(小田谷嘉弥・村松和行)

## 観察した生き物の記録

### 【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/クイナ科：オオバン(声のみ)/チドリ科：コチドリ(声のみ)/シギ科：タシギ/タカ科：トビ/キツツキ科/コゲラ(声のみ)/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ(声のみ)/ヨシキリ科：オオヨシキリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ  
外来種や家禽：ドバト(ハト科)

### 【両生爬虫類】

アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル、トウキョウダルマガエル(声のみ)/カナヘビ科：ニホンカナヘビ

### 【虫】

チョウ目：アカボシゴマダラ、ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、キアゲハ、アゲハ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ルリシジミ、ヤマトシジミ/コウチュウ目：コガタリリハムシ、ナミテントウ、ナナホシテントウ、オジロアシナガゾウムシ、シロコブゾウムシ/ハエ目：キイロホソガガンボ/カメムシ目：マルカメムシ、ホシハラビロヘリカメムシ、ウズラカメムシ、ツマグロヨコバイ/バッタ目：ヤブキリ、ツチイナゴ、ヒシバッタ、ノミバッタ/ハチ目：クマバチ、ニホンミツバチ、コハナバチ、オオスズメバチ、クロヤマアリ、クロオオアリ

### 【クモ】

コガネグモ科：コガネグモ/タナグモ科：クサグモ/アシナガグモ科：アシナガグモ

### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、ニガナ、オオジシバリ、オニタビラコ、ウラジロチチコグサ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ/ゴマノハグサ科：ムラサキサギゴケ、トキワハゼ/オオバコ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン/ナデシコ科：ノミノツツリ、ツメクサ、ミミナグサ/シソ科：ヒメオドリコソウ、ホトケノザ/ムラサキ科：キュウリグサ/フウロソウ科：アメリカフウロ/アカネ科：ヤエムグラ/セリ科：ヤブジラミ/タデ科：ギシギシ、ミチヤナギ/アブラナ科：ナズナ/セイヨウカラシナ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/バラ科：ヘビイチゴ、オヘビイチゴ/イネ科、スズメノカタビラ/マメ科：カラスノエンドウ

# 観察した生き物の記録



今回のがたんのテーマは「命のリレー」でした。鳥、カエル、昆虫、植物など、さまざまな生き物の世代交代の様子を観察できました。



今月の案内人 水上香苗さん、弘貴さんと子さん



②ウマノスズクサに産卵するジャコウアゲハ



③産みつけられたジャコウアゲハの卵



④卵で冬を越し、春に孵化したヤブキリの幼虫



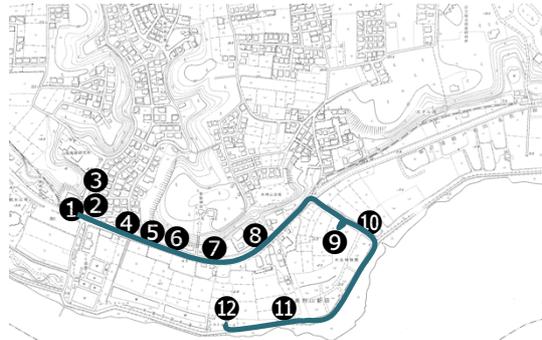
⑤しま模様が美しいウズラカメムシ



⑥鳥のフンに似た模様のオジロアシナガゾウムシ



①巣箱カメラで観察したフクロウ。3羽のヒナが育っています



歩いたルートと観察した生き物



⑨植え込みの中にあつたモズの去年の古巣。近くでは今年に巣立つヒナを連れた家族も見られました



⑦歩道の上で見つけたカナヘビ



⑧黄色い花が咲いていたオッチカカタバミ



⑩水田の畦で休んでいたカルガモのオス



⑪田んぼの畦に咲いていたオニタピラコ



⑫大きな声で鳴いていたキジのオス

## 今月の鳥 フクロウ

フクロウ目フクロウ科

フクロウは、意外にも、私たちに身近な里山の林でも繁殖しています。おもな活動時間は夜なので、その姿はなかなか見られませんが、繁殖期の前の秋から冬にかけては、「ウォウォ、ウォロッホロッホ」という特徴的なさえずりを聞くことができます。

このレポートがみなさんのお手元に届くころ、最初のヒナが巣立つ見込みです。博物館HPや当館のモニターで巣立つ瞬間がみられるかもしれません。引き続き観察をお楽しみください。



ネズミの仲間を持ち帰ったフクロウ

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。